

ブラジル向け洋上原油処理設備を受注

平成 24 年 1 月 11 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社 (TOYO、取締役社長 山田 豊) と三井海洋開発株式会社 (MODEC、代表取締役社長 宮崎 俊郎) が共同でシンガポールに設立した MODEC and TOYO Offshore Production Systems Pte. Ltd. (MTOPS) は、このたび MODEC のシンガポール子会社である MODEC Offshore Production Systems (Singapore) Pte. Ltd. より、浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備 (FPSO) に搭載する船上処理設備を受注いたしました。

本 FPSO は、ブラジルの民間石油開発会社である OSX Brasil S.A. の子会社 OSX 3 leasing B.V. 向けに納入されるもので、OSX 社のグループ会社である OGX 社が保有するブラジル沖カンポス海盆の BM-C-39 プロックにあるワイキキ・ペロ・インガ鉱区の海洋油田開発に利用される予定です。

MODEC は、ブラジルでも既に 7 件の FPSO 納入実績を持つ世界トップクラスのコントラクターです。同社とのアライアンス(協業提携)による受注は今回で 5 件目となり、現在も 2012 年末完成を目指して、ブラジル国営石油会社ペトロbras社向けに FPSO の船上設備の据え付けを行っています。また TOYO のブラジル向けのプロジェクト実績は 28 件目となります。

TOYO は、資源開発や FPSO といったアップストリーム分野の強化に取り組んでおり、今後も同社との協力関係をますます強化し、海洋資源開発分野における受注拡大を目指していきます。

受注概要

客先	MODEC Offshore Production Systems (Singapore) Pte. Ltd. (本社：シンガポール)
受注者	MODEC and TOYO Offshore Production Systems Pte. Ltd. (本社：シンガポール)
係留地	ブラジル、カンポス沖合に位置するワイキキ・ペロ・インガ鉱区
対象設備	浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備 (Floating Production Storage and Offloading : FPSO) に関わる日量 10 万バレルの石油生産能力を持つ船上原油処理設備
役務内容	設計、機器資材の調達およびモジュール製作までの一括請負
原油生産開始時期	2013 年 9 月の予定

お問い合わせ先

東洋エンジニアリング株式会社 広報・IR室 [担当：佐藤、深沢]

TEL : 047-454-1113



つなげる技術、つながる未来

おかげさまで東洋エンジニアリングは
創立50周年を迎えることができました。